

# しまだ 議会だより

No.33

2月定例会

2012(平成24)年5月15日発行

発行 島田市議会

〒427-8501 静岡県島田市中央町1番の1

☎ (0547) 36-7204

FAX (0547) 37-2212



## 目次

P 22 P 20 P 18 P 17 P 16 P 13 P 11 P 2

一般質問（代表質問・個人質問）  
議案質疑  
常任委員会の報告  
討論  
採決結果一覧  
災害廃棄物に関する取り組み  
定例会の概要&議決結果  
議会報告会のお知らせ

**大津谷川での美化活動  
美しい里山を大切にしよう！**

# 代表質問

## 都市間交流の促進を

### どのように！



○新生しまだ  
曾根嘉明議員  
(二問一答)

**問** 海外との都市間交流における今後のテーマは。  
**答** 静岡空港の開港を機に海外からの交流人口が増える中、市民レベルで

の交流を拡大し、国際感覚に優れた人材の育成を進め、産業・観光・文化等の振興による地域の活性化を目指す。



姉妹都市提携している米国リッチモンド市(市庁舎)

**問** 新設される企画部秘書課都市交流係の体制は。  
**答** 係長・職員・臨時職員の3人と国際交流協会という形で事務局長が入る。職員は韓国の方を、臨時職員は英語の通訳等ができる方を予定している。

**問** 韓国東豆川

市との都市提携に向けた取り組みは。

**答** 両市の友好交流の促進に向け、東豆川市の市政・文化・自然環境等に関する情報を市民・市民団体等へ周知し、友好関係を深めたい。

**問** 大井川流域の市町と連携したお茶の海外プロモーション事業の内容は。

**答** 平成25年度に静岡空港周辺で開催を予定している「世界茶まつり」の機会をとらえ、牧之原市と連携協力して緑茶の海外展開、観光交流の促進を目指し、事業を実施していくための調査・研究を行う。

## 市民病院の

## 中心市街地移転に向けて

**問** 「環境配慮型都市づくり」新法を活用した場合の中心市街地活性化に関する構想は。

**答** 島田駅・市役所・新ショッピングビル等の公共施設があり、今後は市民病院が加わるので、中心市街地の活性化を図りたい。



## 気になる市政!

○維新塾  
坂下修議員  
(一問一答)

具体化に向けて協議を進めている。

**問** 病院業務の在り方について、市街地活性化や交流の促進などで本来の在り方を忘れてはならない。病院関係者および移転地域の方々からの理解は得られているのか。

**答** 基本構想を策定している段階で、具体的な建設条件等が決まっていない状況であり、時期をみて考える。

**問** 市が発行する広報紙に、がれき関連の賛否両論が匿名で掲載された。新聞などでは匿名はあり得ないのでないか。

**答** 広報紙の発行規定にのっとっている。

**問** 公の広報紙であり、一般市民による広報紙チェックの場が必要ではないか。

**答** 内部規定に基づき、庁内の広報委員会で、検討等を行っている。

**問** 新東名高速道路の排気、騒音についての調査は。

**答** 供用前後に同じ場所を測定し、数字的に問題があれば対応する。

**問** 国道473号バイパス、倉沢インターチェンジから菊川インターチェンジまでの進捗は。

**答** 地元の了解がほぼ得られたため、環境調査、地質調査、現地調査などが実施されている。



山田町の災害廃棄物(木材チップ)の放射線量測定

# 市域全体が

## 同じ防災通信システムに



○清流会  
おおいせつお  
**大石節雄** 議員  
(一問一答)

**問** 市防災計画の見直しはどのように進めるか。

**答** 地震対策編と一般対策編については、東海地震・東南海地震・南海地震の3連動地震を想定し、県の第4次被害想定の方針に合わせて見直しを行う予定だ。

原子力対策編については本年10月ごろまでに整備をしたい。

**問** デジタル防災通信シ

ステムの整備による効果は何か。

**答** デジタル防災通信システムの整備は県と共同で整備する。島田・入谷・川根の3地区が同じ通信システムを使って発信できるといふ大きな効果がある。また、N T T回線などの通信網が遮断された場合でも、市の災害対策本部が金谷・川根地区の被害状況を把握する時



システム変更予定の防災無線

問が短縮される。  
**問** 緊急情報のメール配信の具体的な方法は。  
**答** メール配信は、QRコードを読み取って登録をする形を検討している。

### 地域と学校の連携

**問** 教育委員会として、学力について目指すところは何か。

**答** 1つ目は、基礎的な事柄の習得。2つ目は、基礎的な事項を応用・活用して、実際に生かして使える力をつけること。3つ目は、児童・生徒の学習意欲をしっかりと身につけさせることである。

**問** 幼稚園・保育園・小学校・中学校・地域等が連携し、地域の教育力を生かした中学校区単位の取り組みを市域全体で行う考えはないか。

**答** 中学校区に限定すると少し無理があるが、地域と学校とのつながりという点においては、力を入れて数年間進めてきた地域と学校とのつながりについては、幅広く進みつつある。

## 東日本大震災の 島田市の対応を問う



○創造島田  
しみずただし  
**清水唯史** 議員  
(一問一答)



厳しい環境の中進められる災害廃棄物処理(岩手県大槌町)

**問** 災害廃棄物(がれき)の試験溶融時の環境検査内容と結果は。

**答** 岩手県から田代環境プラザまでの運搬時の空間線量率と放射能濃度の測定を国のガイドラインに沿って実施し、加えて島田市独自に伊太・大津小学校校庭の空間線量率を測定して不安の解消に努め、その結果は安心できるものであった。

**問** 本格受け入れのプロセスは。

**答** 試験溶融の結果を関係各所に説明し、時期、量を岩手県などと検討している。

**問** 災害廃棄物受け入れ以外に支援はしているか。

**答** 発災後、人的支援として消防士・保健師・医療関係職員など86人を派遣し、4月から南相馬市に職員3人を派遣予定。  
**問** 東日本大

震災の教訓を島田市の防災対策にいかにかに生かしていくか。

**答** 旧金中跡地への多目的産業展示施設誘致に際し、メッセ機能に加え、県の災害救援物資備蓄倉庫としての活用を提案しており、今後は津波などの避難施設としての効用策を県に訴えていく。

### 大井川を軸とした 地域づくりを問う

**問** 新東名高速道路、島田金谷インター周辺の利活用について、県の内陸フロンティア政策との連携をどのように考えているか。

**答** 優良農地として保全すべき農用地を明確にし、調整を十分に行いながら計画的に都市的土地利用の推進を図っていききたい。  
**問** 温泉宿泊施設を中心とした活性化計画は。  
**答** 他の温泉施設と連携し、観光施設等のPRを兼ねた宿泊者に対するサービスを展開し、交流人口の拡大を図っていきたい。

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

# 国保税の値上げ

## 年間20%アップに



○日本共産党島田市議団

まつもと 敏議員  
(一問一答)

**問** 4月からの国保税の値上げは、平均的な世帯で現行税率と比較すると、1人当たりの金額では年間約2万円、率では約20%の値上げ幅となる。景気低迷の中、支払い困

**答** 難な人が増加し、国保会計が悪化するという悪循環になるのではないかと、4年ぶりの値上げであり、基金も取り崩したのでやむを得ないものだが、国保税の滞納状況はどうか。



名称を新たにした「国保年金課」の窓口

**問** 平成22年度末時点では2千793世帯、額は9億1666万円に上っている。一般会計から国保会計に繰り入れを行い、国保税の値上げを抑えることは、他市でも行っている。

**答** 保険料の大幅値上げを抑えるため、約9億円あった支払準備基金を取り崩して保険料の上昇を抑えた。

**問** ホームヘルプサービスで「生活援助」の時間区分が、1時間から45分に短縮された。サービスの後退ではないか。

**答** 45分に短縮されたが、単位区分を変更しただけで、1時間分のサービスで45分で行うというわけではない。

**問** 「びーファイブ」の活用と駐車策はどうか。

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

島田市でも行うべきだ。  
**答** 一般会計から国保会計への法定繰り入れは行っている。国保税を引き下げるための法定外繰り入れは原則として考えていない。

### 介護保険料アップ 高齢者の暮らしは

**問** 第5期介護保険事業計画では、4月からの保険料値上げが提案されている。基準額で月額3千600円を4千円に400円上げるものだ。高齢者の暮らしを圧迫するのではないか。

### 島田市民病院の 市街地移転の状況は

○公明党島田市議団  
とみざわやすひろ 富澤保宏 議員  
(一問一答)



**問** 今後高齢社会に備え、駅中心の公共交通機関の利便性を活用し、合併特例債の利用や市街地の活性化で市民の生活を向上させていくため、新病院の中心市街地への移転は将来の島田市に重要な施策と考える。



市民病院の移転予定地（ジャスコ跡地）

考えた。新病院の移転は大学誘致とリンクしているため、大学を平成30年とすると、病院は平成28年前後と考

えている。

**問** 大学誘致の進捗は。

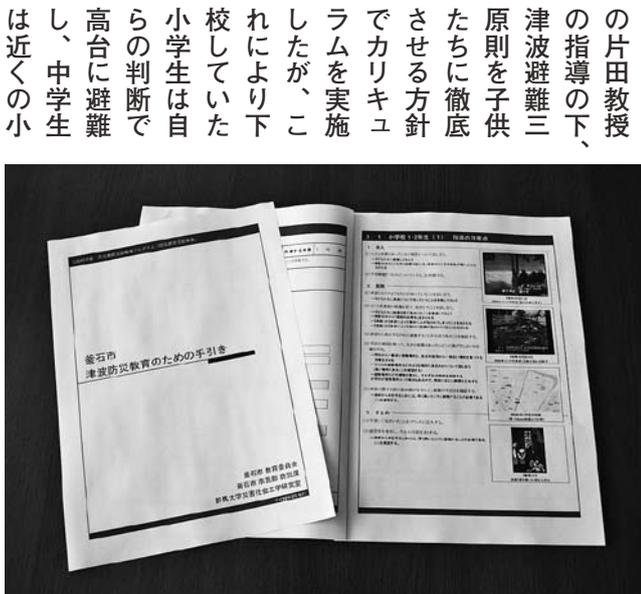
**答** 昨年9月21日に、大学に対し大学新設の要望書を提出して以来、必要な協議を行っている。アダプテッドスポーツの専門的学部で1千人〜1千500人の学生を期待する。

# さらなる防災教育の充実を



○明政会  
かわらざき きよし  
河原崎 聖 議員  
(一問一答)

**問** 東日本大震災に際して、釜石市内の小・中学生のほとんどが無事であったという、いわゆる釜石の奇跡により防災教育の重要性に改めて注目が集まっている。釜石市では群馬大学の片田教授の指導の下、津波避難三原則を子供たちに徹底させる方針でカリキュラムを実施したが、これにより下校していた小学生は自らの判断で高台に避難し、中学生は近くの小



釜石の奇跡を呼んだ「津波防災教育のための手引き」

学生の手を引いて指定された場所に避難するもの、ここでは危険と判断してさらに高い場所に避難し、危うく難を逃れた市内小・中学校でも防災教育は行われているもの

の、避難訓練など単発的なもので、年間を通して行われているものは今のところない。手一杯の教育現場に新たなものを取り入れるのは困難ではあるが、島田で想定される被害に対応した教育内容の検討を始めるべきではないか。

**答** これまでも児童・生徒の状況に応じた判断力に重点を置いた防災教育を行ってきたが、年間を通じた取り組みには至っていない。現在県で平成24年前半をめどに防災教育基本方針を見直しているの、それを参考に市としても総合的・体系的な取り組みを指導していきたい。また、地震対策マニュアルについては、県の見直し作業の結果を待たずに、教員や子供たちの関心の高いうちにということで、今年度すでに市独自で見直しを行った。こうしたことを通じて、地域ごとの災害想定、自主的な判断による危機回避能力の向上、地域への貢献といった点を充実させていきたい。

# 個人質問

## 病院移転には市民の声を



すぎむらようせい  
杉村 要星 議員  
(一問一答)

**問** 金谷の老人会などで市民病院のジャスコ跡地への移転計画について話をすると、駐車場の問題などから反対の声が多く聞かれた。そこで全市民にはどうなのかと思ひ、市民病院のまちなか移転に関して賛否を問うアンケートを後援会の方を対象に実施してみた。400通を郵送し168通を回収したが、賛成が14%、反対が69%、どちらともいえないが17%であり、反対者がかなり多いのではないかという推察を得た。そこで市は反対者が多いのではないかという認識に立ち、より規模が

**答** 大きく、精度の高い市民アンケートを実施し、広く市民の声を聞いて、その結果を病院移転計画に反映させるべきだと考えるが、いかがか伺う。  
**答** 中心市街地への病院移転については、現在、策定している「まちなか集積医療基本構想」の素案を策定した段階で行うパブリック・コメントなどによって、市民の皆様からのご意見をいただく予定である。



移転が検討されている市民病院

的に意見を言おうという人から意見を得る手段としては優れたものだと思うが、NHKの世論調査のように統計的数値を求めるための手段としては問題があると思う。病院は、赤ちゃんからお年寄りまでほとんどの市民がお世話になる施設である。市民にとって良い病院を造るためにも、アンケートによって市民の声を聞くべきではないか。  
**答** アンケートは、がれきと同じで反対の意見が強く出る傾向があるので、単純に実施することが良いのか疑問である。

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

# 病院はどこ？

## 駐車場はどうなる！



さの よしはる  
佐野義晴 議員  
(二問一答)

**問** 病院を街なかへ移転する案に対して、賛成者が多いか、それとも反対者が多いか、市民の受け止め方を伺う。

**答** 反対者が結構いる。

**問** 病院の開設および大学の開校時期はいつか。

**答** 大学の開校時期は平成30年、病院の完成は開校に合わせて平成28年前後を目標とする。

**問** 大学の開校に支障を来さないために許される市の意思決定期限はいつか。

**答** 十分な検討はしていない。病院の移転が整わないと予定は組めない。

**問** 現在地には、920台分の駐車場がある。市民が望む駐車形態のあり方および通院手段を伺う。

**答** 中心市街地は土地価格が高くと、更地で1千台近くを確保するのは難しいので立体駐車場に対応する。

**問** 現在の敷地は4万5千平方メートルである。一方、ジャスコ跡地は5千平方メートルしかない。狭い場所での病院本来の機能は確保されるか。

**答** 災害時を考えた面積の確保は必要である。基本構想ができた時点で市民の意見を聞く機会を設け、市民に納得いただけるように努める。



ぴ〜ファイブからジャスコ跡地を望む

**問** 街づくりという観点から、病院の建物および施設の耐用年数が街の寿命となりかねない。建物および施設の寿命について見解を伺う。

**答** そんな先までのことは考えていない。

**問** 病院の建設場所として、現在の敷地内での建て替えとジャスコ跡地を比較して、どちらの場所が適切か。また、次世代の市民に評価される場所はどこか伺う。

**答** 双方の場所に、特徴があつて答弁は難しい。

# 新病院建設はまちなかに？

おただただ  
福田正男 議員  
(一問一答)



**問** 「まちなか集積医療基本構想」の成果発表はいつ頃になるのか。

**答** 平成24年度中と考えている。

**問** ヘリポートの問題が解決すれば、現在地での建て替えは可能か。

**答** 今回は、病院を中心市街地の活性化のためのひとつの手段と考えている。そのために、中心市街地へ病院を移転するというところで、現在地での建て替えは考えていない。

**問** 14階建ての屋上にヘリポートを造った場合や救急車が1日10回や20回来た場合、騒音の問題をどのように解決するつもりか。また、駐車場の問題はどうか。

**答** 基本計画の中で、検討している。

**問** この新病院の移転建設について、住民投票を実施していく考えはないか。

**答** 住民投票は今のところ考えていない。

**問** 関係する諸団体、例えば医師会とはコンタクトはとっているのか。

**答** 今のところ、説明はしていない。

**問** 今の病院の医師や看護師の意見はどうか。

**答** 従前は現地建て替えて周知していたが、中心市街地へ市民病院の移転計画が出ているというこ



移転が計画されている島田市民病院

**問** 国や県では、東日本大震災を受けて、災害拠点施設の重要性を訴えている。その中でも、富士山静岡空港が候補地として挙げられている。私は、国や県に働きかけて、旧金谷中学校跡地に災害拠点病院として、がんを中心とした総合病院を誘致したらどうかと思うがいかがか。

**答** 旧金中跡地は、多目的展示施設を考えている。病院は考えていない。

# 風評被害を吹きとばせ



やぎのぶお  
**八木伸雄** 議員  
(二問一答)

**問** 山田町の木材チップは島田の敷き草やわらと変わらない。普通のごみだ。また、岩手県での現地調査でも確認した。一般廃棄物と同じと考えていいののか。  
**答** そのようにご理解願いたい。

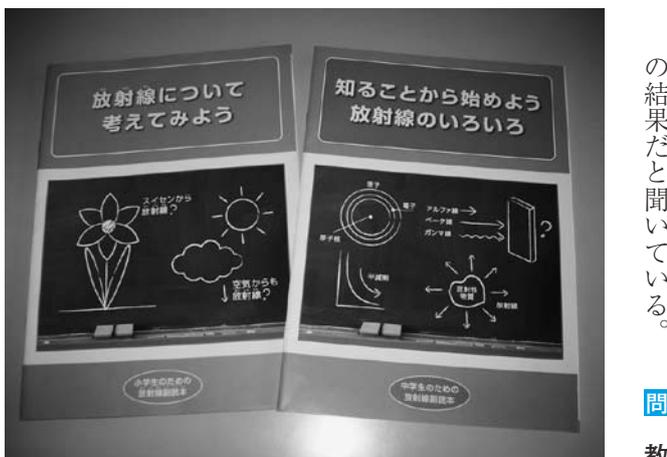


がれきの空間線量は島田と同等

**問** 試験溶解の結果が出れば、安全だと分かってもらえると思う。  
**意見** 11月議会では、がれきの受け入れには賛成だが、あくまで市民の安全が保障されなければなら

**問** お茶の風評被害対策は、自主検査の補助と1千500万円の補正予算で安全をPRしていく。  
**答** 最終処分場のある初倉地区のご理解をいただくことが一番の風評被害対策だ。

**問** 樹齢に応じ国・県の間伐事業がある。搬出材補助は市の上乗せもある。  
**問** 昨年の台風では、林道が山間地の生活道路のう回路になった。広域林道は防災面からも必要だ。林道開設の計画は。  
**答** 規模の小さなものは市で、行政区をまたぐものは県営で行う。県営では、大尾大日山線に続いて京柱線を開設する。



小・中学校で使用する放射線副読本

**問** 地元の強い京柱線に続き、無双連山線も県営でお願いしたい。  
**答** 市は、岩手県山田町の震災がれきの試験焼却を実施した。地元伊太地区、初倉地区の住民合意もなく、他地区での住民説明会も十分なまま、強引に踏み切ったのは問題だ。  
**問** 市と山田町の廃棄物を混ぜて、燃やす前の放射性セシウムの総量と燃やした結果出てくるセシウム総量は同じはずだ。しかし、入口の総量と出口の総量を比較して、4千ベク

らないと言ってきた。一般ごみと変わらないのなら受け入れするべきだ。受け入れに反対することへの風評被害の方が怖い。  
**問** 県の森の力再生事業の成果は。  
**答** 整備目標1千250ヘクタールに対し、780ヘクタールで実施率は約62%である。  
**問** 同事業の成果は評価する。だが、同事業で行えない山林が9割以上ある。対策は。

## 試験焼却でのセシウムの行方は?



さくらいようこ  
**桜井洋子** 議員  
(一問一答)

市の差がある。どういう理由か。  
**答** 実際にその総量すべてを検査しているわけではないので、ある程度の誤差は生じる。  
**問** 煙突からガスと一緒に放射性セシウムが出ていないのかとの不安がある。国の説明では、バグフィルターでほぼ100%除去できるとしているが、実証実験はしたのか。  
**答** 実証実験ではなく、東京や東北で実際に溶融炉で処理をした実績からの結果だと聞いている。

**子どもたちに正しい放射能の教育を**  
**問** 文部科学省の新しい放射線副読本が小・中学校の子どもたちに配布される。しかし、その内容は、放射線は身近にあるものと繰り返し、内部被ばくなどの危険性を過小評価する内容になっている。原発事故の反省も感じられない。これをどのように使用するのか。  
**答** 副読本は授業を進める中で、子どもたちの理解を深めるために使う。  
**問** 教員の研修はどう行うのか。  
**答** 教員自身も放射能の科学的認識を得るため、小・中学校の理科の教員への研修が計画されている。参加した教員は、研修内容を自校の指導に生かす。

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

# 島田市の 水環境向上への取り組みは



藤本善男議員  
(二問一答)

**問** 島田市の汚水処理施設の人口普及率は。 **答** 平成22年度末で36.3%となっている。

**問** そのうちの公共下水道の普及率はいくらか。 **答** 9.7%である。

**問** 静岡県の普及率72.9%と比較し、普及が遅れているのはなぜか。 **答** 下水道予算のうち、年間5億円を子育て支援

などに使ったため工事の進捗が遅れた。

**問** 公共下水道への接続は進んでいるか。 **答** 整備が完了した区域の接続率は平成22年度末で81.6%である。

**問** 接続率が向上しない理由は何か。 **答** 合併処理浄化槽の普及や高齢化による資金不足世帯の増加が理由とし



大津通で進められている下水道工事

て考えられる。

**問** 合併処理浄化槽の補助事業の状況はどうか。 **答** 本年度、浄化槽を設置した384件のうち、344件を補助した。

**問** 1件当たりの補助額を減らしても、すべての方を補助するような考えはないか。 **答** 補助額が国の基準を下回ると、国の助成額が変わるため、現在のやり方で行きたい。

## 火災警報器の設置は進んでいるか

**問** 島田市の住宅火災の発生状況は。 **答** 平成23年の火災発生件数21件中6件である。

**問** 住宅用火災警報器の取り付け状況は。 **答** 平成23年度で69%の設置率である。

**問** 新年度に行われる住宅用火災警報器設置調査の概要と目的は。 **答** 全戸訪問で全世帯の設置状況を調査し、特に高齢者、身体障害者宅の設置率を向上したい。

## ごみの減量目標は達成できるか



原 木 忍 議員  
(一問一答)

**問** 平成22年度のごみの年間排出量、1人1日当たりの排出量、1トン当たりの処理コスト、焼却コストはどのくらいか。 **答** ごみの年間排出量が3万3965トン、1人1日当たりの排出量は912グラム。処理コストは3万4604円、焼却コストは2万1208円となる。

**問** 平成30年までに1人1日878グラム、10%の減量を目標としているが、達成の見込みはあるか。 **答** 島田市のなかでなく、国の中でも減少傾向にあるので、ある程度近い数字になると考えている。

**問** ごみ有料化について検討しているか。 **答** 今後は燃えるごみ袋を有料にするか、あるいは個別収集を有料にするのか等々具体的な手法を検討していきたい。

**要望** 有料化の前に行きたくない。 **答** 有料化の前に行きたくない。 **答** 燃えるごみ袋を有料にするか、あるいは個別収集を有料にするのか等々具体的な手法を検討していきたい。

**要望** 有料化の前に行きたくない。 **答** 燃えるごみ袋を有料にするか、あるいは個別収集を有料にするのか等々具体的な手法を検討していきたい。



民間委託のごみ収集車（金谷地区）

## 中学生の柔道授業の安全管理は

**問** 中学校7校の武道の選択は決まったか。 **答** 7校とも柔道に決定した。

**問** 全国的に柔道の事故が多発しているが、安全管理についてどう対処するか。 **答** これまでの柔道指導において、安全に配慮をするよう注意喚起している。島田市柔道協会や柔道専門家に指導の協力を依頼する予定である。

# 安全・安心な廃棄物処理を願う



くればやし  
みつぐ  
**紅林 貢**  
議員  
(一問一答)

**問** 災害廃棄物処理の詳細を把握したのはいつか。

**答** 12月10日の静岡県市長会・町村会において、県職員より現地でのデータ数値、木材チップおよび静岡県の広域処理イメージ等の説明を受けた。

**問** 安全プラス安心をどのように消費者の皆さんに伝えていくのか。

**答** がれきの受け入れにより安全だということが伝わると、島田は頼りになる、東北のことを考えてくれている」となることが安全・安心以上のことだと思っただろう。お茶農家にとっては今は不安だと思いが、がれき



最終処分場の水処理施設

**答** 特殊な薬品で外へ流れないようにする方法にする。排出のところにそのような薬品を据え付け、吸着させるなど対応は可能だと思ふ。

※そのほかに蓬萊橋右岸側の整備(通称)蓬萊峡の崩落対策についても質問した。

の受け入れは絶対に素晴らしいことだと思っただが、各市町の動向で量、受け入れ期間が決定されると思ふ。

**問** 静岡市は新茶シーズン前から放射性物質の検査を行い、安全・安心のアピールと新茶取引の円

滑化を図る取り組みをする。島田市でも取り組みをしてもらえないか。

**答** お茶のセシウム検査は、金谷の検査センターで1農家・1工場につき、1件ただでやってもらえ、1件ただでやっている。

**問** 受け入れ量の決定をどのように考えているか。

**答** 年間5千トンが目標だが、各市町の動向で量、受け入れ期間が決定されると思ふ。

**問** 最終処分場での処理において、土の量を厚くする、あるいは放射性物質を吸着する資材の投入などは考えられないか。

## 茶産業の将来展望



なかだ ゆうこ  
**仲田裕子** 議員  
(一問一答)

**問** お茶の風評被害に対する対策はあるか。

**答** 静岡県から関東地方および東北地方で新聞広告を掲載する。「がんばれ東北 私たちは風評には負けません 島田茶・金谷茶・川根茶」などの全面広告を3月15日頃から3月末までの間に読売新聞、朝日新聞に掲載することで、島田市のお茶の安全と安心のPRを行う。

**問** 災害廃棄物受け入れに伴い、国・県は万が一の風評被害の補償をどのように担保したか。

**答** 「県は、国が賠償するようにならざるよう働きかけ、責任を持つて回復可能な対策を講じると文書で回答を得た。



旧金谷町献上茶使用のホイロにて

**問** お茶の安全出荷基準が大幅に見直された。詳細を伺う。

**答** 荒茶、製茶で1キログラム当たり1000ベクレル、抽出茶で1キログラム当たり10ベクレルに設定された。

**問** 献上茶事業は風評被害を和らげ、島田市のお茶のアピールになると考

**答** 今、島田茶の献上を申し出ること、一番のチャンスと考える。

**問** 金谷地区活性化の具体的な内容を伺う。

**答** ①国道1号島田金谷バイパスの4車線化と菊川インターチェンジのフルインター化により、交通網の整備が大きく進展する。②金谷駅のバリアフリー化事業を進め、完成後金谷駅から富士山静岡空港へ新たなシャトルバスの運行を検討する。③北五和地区の一部を除く、光ファイバ網の整備。④金谷茶まつりでは、茶業界の活性化を図るための予算の増額などである。

※このコーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

### 東海地震発生に危機感はあるか？



ほしのてつや  
**星野哲也** 議員  
(二問一答)

初倉地区は、海岸から約5キロメートルの位置にあり、人々は、3・11以降不安な日々を送っている。地震津波対策として以下の質問をする。

**問** 津波防災マニュアルの要望はあるか。また、作

**答** 現在、要望もないため、作成は考えていない。

**問** 新設の防災課の役割は何か。

**答** 防災に特化した課として水防・土砂に関する事務手続き、防災に関する窓口業務を一本化する。

**問** 東日本大震災以降、小・中学校の避難訓練はどのように変化したか。

**答** ①子供達が指示を待つだけでなく、状況に応じて判断する訓練を取り入れた。②登下校の途中で地震に遭



東名高速道路付近の住民は、津波が心配だ

ったときの行動の仕方考えさせた。③職員の役割分担の確認を徹底した。

**問** 地震・津波に対して、隣接している他市町と連携しているか。

**答** 地震・津波や原子力災害への対応に関して、隣接している市町との連携はこれから必要である。

### 武道の安全教育

**問** 市内全校が柔道と聞

**答** 柔道の選択は、場所・用具・衣類・指導者の力量等を考慮し、教科指導者会で決定した。授業は1、2年生でおのおの8時間〜10時間行う。

**問** 市教委として、安全対策を考えているか。また、指導力は万全かどう

**答** 体育教師のうち柔道指導に優れている者が2人いる。ほかは、講習会や先輩教師から安全対策を学び、島田市柔道協会や柔道専門家へも協力を依頼している。

**問** 難病の定義とは。



難病情報センターのパンフレット

### 難病の一つ、線維筋痛症とは

みぞしたかず お  
**溝下一夫** 議員  
(一問一答)



**問** 難病者の相談窓口は。

**答** 1月末現在で699人。

**問** 難病者の相談窓口は。

**答** 県の難病相談支援センターと中部健康福祉センター、市は健康づくり課が窓口となる。

**問** 難病者への行政支援は。

**答** 医療費助成、在宅で人工呼吸器を使用する人への訪問介護支援。市では在宅療養者に対し、ホームヘルプサービスを行う。

**問** 市の特定患者数は。

**答** 平成17年4月に設立された、難病慢性疾患への正しい理解の啓発、患者が地域で普通の暮らしができる環境づくりの推進を目的に活動している。

**問** 島田市民病院での難病治療は可能か。

**答** 難病として国の研究事業の対象となっているベーチエット病やクロールン病等は可能で、線維筋痛症も原則として治療している。

# 文化課新設！期待する文化行政！



むらた ちづこ  
村田千鶴子 議員  
(一問一答)

**問** 島田市の文化度を向上させる施策として昨年行われた、文化協会主催のピアノ(当市は、日本で希少なピアノの最高位機種ベーゼンドルフアー2台を保有)の連弾演奏は大好評と伺う。継続事業と位置付け、地域内外に広く発信する考えは。

**答** 島田の文化をPRし、情報発信するには非常に良いと考えるので、文化協会等と相談しながら対応を考えていきたい。川越遺跡指定地で公有



ベーゼンドルフアー2台での連弾演奏

化の動きがあるが、今後の建造物の活用として、①川会所跡の移築整備の計画は。②荷縄屋跡地利用のように経済活動の可能な整備の考えは。③にぎわい創出にコミバスの

※このほかに、島田図書館移転後の跡地利用に、横井資料室にある清水文庫と「戦時資料を集める会」所有の資料展示(平和教育)と保管・市民の交流スペースの設置を要望した。

**答** ①整備できればベストだが、かなりの事業費が必要なので長期的な計画を立てて検討する。②教育委員会の苦手とするところなので、集客にむけ民間のノウハウや力を借りていきたい。  
**問** 文化活動の振興には市民活動の場が不可欠である。現在、市の施設利用の一部負担が見直されている中、①生涯学習の観点から自主グループへの継続、②幼児教育の観点から私立の幼稚園・保育園への再考を要望する。

**答** ①補助金等の適正化を図る中で協議したい。②公私を問わず大事と認識するが、所管する部が変わったということ、急に受益者負担の考え方を要することはできない。

導入を要望する。

# 議案に対するQ&A

市長から提出された議案に対し、6人の議員が21項目について質疑しました。以下、主なものを掲載します。

## 【一般会計予算】

### ☆子ども館運営事業について

**問** どんな事業を行うか。また、どれくらいの利用を見込んでいるか。

**答** 有料のプレールーム、児童館機能、一時託児、ファミリースポーツセンター事業の4事業を行う利用者については、年間でプレールームは5万人、児童館施設は3万人、一時託児については4000件を見込んでいる。

**問** 駐車場は十分に確保できているか。

**答** 隣接する新島田ショッピングビルの駐車場のほか、近くの民間の駐車場を利

用してもらう予定で、台数は十分確保できると考えている。

### ☆学校図書館支援員について

**問** どのような仕事をするのか。

**答** 児童・生徒の読書活動推進のため、司書教諭などをサポートしながら、読書の時間や国語の授業における本の紹介や、担任とともに行う学校図書館や図書資料を活用した学習の支援である。3人の支援員がそれぞれ2校ずつ勤務し、小学校6校に配置され、1校当たり週2日または3日の勤務になる。

### ☆学校給食共同調理場整備事業について

**問** 施設の概要と今後のスケジュールはどうか。

**答** 1日当たり6千300食の調理能力を持つ共同調理場で、鉄骨造り2階建て、建築面積は2千424平方メートル、延べ床面積は2千999平方メートルを計画している。施設内には、調理および洗浄施設、アレルギー食対応設備、施設見学通路や研修室を配置し、調理施設にはドライシステムや空調システムを導入することで衛生管理の徹底した施設となる。工程については、平

成24年度実施設計、25年度着工、26年9月業務開始を予定している。

☆川根小学校校舎改築事業について

問 改築のスケジュールはどうか。

答 平成24年度に耐力度調査・地質調査、25年度に基本・実施設計、26年度にA棟解体・校舎改築1期工事、27年度に校舎改築2期工事・B棟解体および外構工事を実施する計画である。

☆広報しまだの発行について

問 発行回数を月1回、15日とする理由は何か。

答 配布をお願いしている自治推進委員等の作業の負担軽減を図るとともに、発行経費の節減による効率的な行政運営を目指している。また、発行日を15日としたのは、現在広報しまだとともに、使送で配布している月刊お

るりや広報しまだ掲載の健康ナビコーナーの行事やお知らせを、これまでどおり

1日分から掲載したいこと、広報紙が市民の皆さんに届くまでの日数を勘案したところ、15日はこれまで発行していた日であることが移行する理由である。

問 これまでよりも情報量が減るのではないかと。これまでよりも情報量が減るのではないかと。

答 これまでは月2号で合計38ページほどであったが、これを1号で32ページほどに内容を圧縮して簡潔に掲載しようとするもので、情報量に大きな変化はないと考える。



新島田ショッピングビル（イメージ図）

問 これまでにどのような成果があるか。

答 平成21年6月の調査結果では、補助対象区域には活用が可能な空き店舗が約20カ所あったが、この3年間に18カ所が活用されており、目標は達成できたのではないかと考える。

☆空港周辺プロジェクト推進事業について

問 旧金谷中学校跡地に市が構想している多目的産業展示施設は、県の空港ティージャーデンシティ構想と関連性

が図られているのか。

答 県がこの土地に建設する施設の内容は固まっていないが、用地の確保と造成までが島田市の役割となっており、施設の内容が決まったら速やかに建設に移行できるように造成を進める必要があること、周辺の茶畑などに雑草が生えないように荒造成だけでもする必要があること、また、これに関する補助金・交付金の期限が平成25年までとなっているため計画的な執行に努めていくということを考えている。

☆太陽エネルギー利用促進事業について

問 どのような事業内容か。

答 市内に居住または居住予定の住宅に太陽光発電システムを設置する方に対して補助金

を交付しようとするもので、補助額は1キロワット当たり1万5千円で、4キロワット、6万円を上限とする。件数は年間百件を見込んでいます。



太陽光発電パネルの設置例

【特別会計】

☆国民健康保険事業

問 国民健康保険税が引き上げとなる理由は何か。

答 平成22年度までは医療費の伸びがあまり大きくはなく、繰越金や準備基金の積立金も残っていたが、23年度

に入って急激に医療費が伸びてきたことから、基金も大方取り崩してしまっているため、24年度以降の医療費支払いに充てる財源として保険税の増額しかないと判断した。今後は、医療費抑制について、これまで以上に市民の協力を求めていく必要があると考えている。

【企業会計】

☆病院事業

問 医師数が減る中で、十分な収益を上げるめどはあるのか。

答 平成24年度当初は23年度末と比べ5人減となるが、23年度当初と比べれば1人減にとどまる。収益を考えると、収益を重なる上で医師数は重要な要素だが、その他の医療環境もあり、それだけで収益が減るとは考えていない。

☆空き店舗再生事業費補助金について